うさぎとかめ通信　上越市立高田幼稚園

（週刊：園長室だより）１０６周年
令和４年７月７日　第１５５号　HPのQRコード→

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本！

子どもの姿から

【楽しい遊具のジムリーナ】→

６月29日（水）に、プール開きがありました。みんなで安全で楽しいプール遊びができるよう、約束を確かめ合いました。そして、クラスごとにプールに入りました。少人数ですから間隔を十分に確保し、監視も複数の職員で対応できています。28日に梅雨が明けた猛暑の中、子どもたちは歓声をあげ、約束を守りながら、本当に楽しそうにプール遊びをしました。

１日（金）に、バス遠足でジムリーナへ行きました。大潟区にある上越体操場ジムリーナでは、指導員さんが熱心に教えてくださるため、毎年子どもたちは楽しんでいます。もも、うめ、まつ組の３班に指導員さんが１人ずつついて、トランポリン、平均台、幼児用遊具、跳躍台などを体験しました。最後に、指導員さんがトランポリンの妙技を見せてくださり、感激でした。猛暑の日でも、快適なジムリーナでした。

園庭・園舎から

【まつ組さん、竹運びありがとう】→

６月27日（月）に、交通安全教室を実施しました。まつ組の皆さんが、交通安全について学習しました。上越市安全教育指導員の皆様が、パネルなどを使って、安全な道路の歩き方や横断歩道の渡り方などを教えてくださいました。子どもたちは積極的に発言し、「大切な自分の命を自分で守る」ことを学びました。

６月28日（火）に、旧師団長官舎様から竹をいただきました。ありがとうございました。七夕飾りに使う竹を２本、まつ組の皆さんが青田川沿いの道から運んできました。暑い日でしたが、みんなの七夕の願いのためにがんばってくれました。さすが年長さんでした。

キーワード

【暑い時はやはりエスニック料理です】→

〇マザリーズ

「子どもとことば研究会」代表の今井和子様の文章を紹介します。

『マザリーズとは、古今東西どの国、どの民族でも、子どもを育てる際に使われる、共通した特徴を持つ語りかけ方のことです。大人が乳幼児に語りかける際、自然と普段とは違う話し方になるものです。その特徴として、声のトーンが高くなる、抑揚を大きくつけてゆっくり話す、同じことばをくり返すことなどがあげられます。こうした話し方は、まるで歌のようにも聞こえて子どもの注意を引き、聞く力を育み、それはやがてことばの獲得へとつながっていきます。』また、独立行政法人理化学研究所では、マザリーズは大人が乳幼児に言葉を伝えようとする強い意図の表れと指摘しています。　（引用：月刊「PriPri」平成４年７月号・世界文化社）